

## 介護相談員だより

## ●介護相談員10年表彰●

現在、コロナウイルス感染拡大防止のため施設の訪問を休止している介護相談員事業ですが、保土ヶ谷区の介護相談員として活躍されている、丸山 由紀子様、矢本 光子様が、10年表彰を受けました。

お二人に相談員になったきっかけ、思い出に残っている出来事等、お話を伺いました！今後とも、さらなるご活躍をよろしくお願いたします！

- 1 介護相談員になったきっかけ 2 今までの活動の中で思い出に残っている出来事  
3 介護相談員になってよかったこと、訪問時に心掛けていること 4 メッセージ



丸山 由紀子様

「利用者の方の表情や、話を聴いて気持ちを理解することを心掛けています」

- 1 保土ヶ谷区で介護相談員をしていた方の紹介です。
- 2 介護相談員になって間もなくの頃。食事の時にだけ出て、周りの人ともあまり話をせず、ユニットの部屋で横になっている方がいました。言葉や話し方に何となく近いものを感じて、聞くと同郷の人でした。地名などわかるので頷くと、どんどん記憶が甦ってきて働いていた時の事などを話してくれました。「こんなに話したの初めて。いつ逝くかわからないけれど会えて良かった・・・」と訪問を待っていてくれました。
- 3 私達の訪問を待っていてくれるのは嬉しいことです。表情や話を聴いて、気持ちを理解することを心掛けています。
- 4 2年訪問できない状況にあり、「オリンピックまでは元気でいなくては！」と頑張っていた人、声をかけるといつも「ありがとう」と言ってくれた人、とても気がかりですが、施設の方々が頑張っておられます。皆さんが無事に過ごされていることを願っています。



矢本 光子様

「利用者が話しやすい事柄を導きだしてあげられるよう声かけすると、とても喜ばれます」

- 1 同じ地区の民生員で、介護相談員をしていた方の紹介です。
- 2 「体験入所の女性で、印象深かったこと」その女性は、暴言、唾を吐く、足で蹴る等問題行動がある方で、入所の可否の決定の場にたまたま居合わせ、施設の担当者から対応を依頼されました。ハラハラ、ドキドキでしたが、普通に声をかけ、傾聴をしていると穏やかな態度で粗雑さは全然ありませんでした。先入観だけでなく対応の仕方の大切さを痛感しました。
- 3 様々な環境・事情がある中で施設入所となる利用者の内面を少しだけでも垣間見ることができたこと、「また来てね」の一言がとても嬉しかったです。訪問は、利用者だけでなく施設の職員・スタッフにも目をくばり、お互い気持ちの良い活動を心掛けるようにしています。
- 4 傾聴はとても大事なことです。利用者が話しやすい体験談や懐かしい事柄を導きだしてあげられるように声かけするととても喜ばれます。